

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	情報リテラシー
科目基礎情報					
科目番号	151101		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	環境材料工学科		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	ネットワーク社会における情報の活用と技術 岡田正 他編 (実教出版株式会社)				
担当教員	高見 静香,坂本 全教				

到達目標

- 1.電子計算機室のコンピュータにログオン、ログアウトができ、パスワードの変更ができること。
- 2.キーボードから文字の入力がスムーズにできること。
- 3.ワープロソフトを用い、簡単な図表入りの書類が作成できること。
- 4.表計算ソフトを用い、簡単な計算やグラフを作成できること。
- 5.コンピュータウィルスやセキュリティホールについて、その危険性や対策方法を理解すること。
- 6.ネットワーク社会におけるセキュリティ技術について理解し、自らを守る方法を知ること。
- 7.ネットワーク上での犯罪や有害情報について知ること、高度情報化社会の負の面について理解すること。
- 8.情報に関する法律について学び、個人情報や著作権の重要性について理解すること。
- 9.情報を発信する場合や受信する場合のモラルについて理解すること。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	電子計算機室のコンピュータにログオン、ログアウトができ、堅牢なパスワードに変更ができる。	電子計算機室のコンピュータにログオン、ログアウトができ、パスワードの変更ができる。	電子計算機室のコンピュータにログオン、ログアウトができ、パスワードの変更ができない。
評価項目2	タッチタイピングによりキーボードから文字の入力がスムーズにできる。	キーボードから文字の入力がスムーズにできる。	キーボードから文字の入力がスムーズにできない。
評価項目3	ワープロソフトを用い、図表入りの書類が自由に作成できる。	ワープロソフトを用い、簡単な図表入りの書類が作成できる。	ワープロソフトを用い、図表入りの書類が作成できない。
評価項目4	表計算ソフトを用い、関数計算や複雑なグラフを作成できる。	表計算ソフトを用い、簡単な計算やグラフを作成できる。	表計算ソフトを用い、簡単な計算やグラフを作成できない。
評価項目5	コンピュータウィルスやセキュリティホールについて、その危険性や対策方法を理解でき、有効な対策を実施できる。	コンピュータウィルスやセキュリティホールについて、その危険性や対策方法について理解できる。	コンピュータウィルスやセキュリティホールについて、その危険性や対策方法について理解できない。
評価項目6	ネットワーク社会におけるセキュリティ技術について理解し、自己防衛する手段について理解している。	ネットワーク社会におけるセキュリティ技術について理解している。	ネットワーク社会におけるセキュリティ技術について、どのような技術があるか説明できない。
評価項目7	ネットワーク上での犯罪や有害情報について説明でき、高度情報化社会の負の面について理解して適切な行動ができる。	ネットワーク上での犯罪や有害情報について説明でき、高度情報化社会の負の面について理解ができる。	ネットワーク上での犯罪や有害情報について説明でき、高度情報化社会の負の面について理解ができない。
評価項目8	情報に関する法律について理解でき、個人情報や著作権の重要性について理解して説明することができる。	情報に関する法律について理解でき、個人情報や著作権の重要性について理解できる。	情報に関する法律について理解できず、個人情報や著作権の重要性についても理解できない。
評価項目9	情報を発信する場合や受信する場合のモラルについて理解でき、適切な行動ができる。	情報を発信する場合や受信する場合のモラルについて理解できる。	情報を発信する場合や受信する場合のモラルについて理解できない。

学科の到達目標項目との関係

工学基礎知識 (A) 教養 (D)

教育方法等

概要	コンピュータ操作の基本、キーボード操作、ワープロソフトや表計算ソフトの使い方などのコンピュータリテラシーや、インターネット利用する上でのモラルや危険性、高度情報化社会における法律について学ぶことを目的とする。
授業の進め方・方法	パソコンを用いた実習形式とする。一部、講義形式でも授業を実施する。この科目は2年生で開講される「情報処理1」、3年生で開講される「情報処理2」の基礎となる科目です。
注意点	中学の技術家庭科で学習した内容も参考にして、これからの高度情報化社会を行きていくには単にコンピュータが使えるだけではなく、セキュリティ対策やモラルがとても大切になります。是非この授業で高度情報化社会に参画する姿勢を身につけてください。この科目は2年生で開講される「情報処理1」の基礎となる科目です。

本科目の区分

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	電子計算機室の使い方、パスワードの管理、WebClassの使い方、インターネット検索	1
		2週	情報セキュリティ1 (コンピュータウィルス、セキュリティホール)	5
		3週	ワープロソフトの使い方1、タイピング練習	2,3
		4週	情報セキュリティ2 (ネットワークのセキュリティ)	6,7
		5週	ワープロソフトの使い方2、タイピング練習	2,3
		6週	情報セキュリティ3 (ネット詐欺、ファイル交換ソフトの危険性)	6,7
		7週	ワープロソフトの使い方3、タイピング練習	2,3
		8週	情報セキュリティ4 (有害サイトの対策・暗号化)	
	2ndQ	9週	表計算ソフトの使い方1	4

		10週	情報モラル1（個人情報の保護）	8,9
		11週	表計算ソフトの使い方2	4
		12週	情報モラル2（著作権の保護）	8,9
		13週	表計算ソフトの使い方3	4
		14週	情報モラル3（ネットワークエチケット・情報の発信と受信）	8,9
		15週	期末試験	
		16週	試験返却・復習	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3	
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	3	
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3	
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3	
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	4	
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	4	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	4	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	4	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	

評価割合

	試験	課題	合計
総合評価割合	40	60	100
基礎的能力	20	30	50
専門的能力	20	30	50
分野横断的能力	0	0	0